

令和4年第2回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

令和4年6月8日（水） 議員団会議終了後
保土ヶ谷区役所4階 401会議室/WEB会議併用

次 第

議 題

- 1 令和4年度保土ヶ谷区運営方針について
- 2 令和4年度保土ヶ谷区編成予算 事業概要及び執行計画について
- 3 その他



令和4年度 保土ヶ谷区運営方針

基本目標 いつまでも住み続けたいまち ほどがや



区庁舎花時計

区民に一番身近な行政機関として、区民・関係団体・企業等の皆様とのつながりを大切にし、誰もが住みやすいまちづくりを推進します。

コロナ禍において「区民の安全・安心」をしっかりと支えていくとともに、令和9年度の区制100周年に向けて、人と人がつながり、将来にわたり魅力と活力あふれるまちの実現に向けて取り組んでいきます。

◆ 目標達成に向けた施策 ◆

◆ 暮らしの安全・安心の確保

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進します。また、脱炭素化に取り組むとともに、誰もが安全に安心して暮らせるよう、感染症対策、道路や公園等の維持管理、交通安全対策、防犯、食の安全などに取り組みます。

◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、生活習慣病予防、介護予防などに取り組みます。また、スポーツを通じた健康づくりを推進します。

◆ つながり・支えあいの推進

人とのつながりを大切にする視点を持って、第4期保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）の取組を進めます。また、5年後の区制100周年を契機として、地域活動の活性化を後押しし、地域の絆を深めます。

◆ 魅力あるまちづくり

自然や歴史などの地域資源を生かした取組や鉄道駅周辺の魅力づくり、商店街振興、地産地消等の取組を進めるとともに、区の魅力を発信することにより、地域への愛着をはぐくみ、「住みたい、住み続けたい」と思っただけのまちづくりを推進します。

◆ 目標達成に向けた組織運営 ◆

◆ 信頼される区役所づくり

◆ 区民の皆様へ寄り添った窓口サービスの提供

来庁者の立場や気持ちに寄り添い、傾聴の姿勢と分かりやすい説明を心がけ、正確かつ円滑な窓口サービスを提供します。また、個人情報保護に万全の注意を払いつつ、デジタル化も含めた利便性の向上に努めるとともに、感染症対策を徹底し、快適・安心な庁舎環境を整えます。

◆ 地域との協働によるまちづくり

日々の窓口対応や地区担当制等を通じて、区民ニーズや地域課題を的確に把握し、区の事務事業及び市の施策等へ反映させていきます。また、協働・共創の意識を持ち、区民、自治会町内会や各種団体、企業、大学等の皆様と連携して、地域課題の解決に向けて取り組むとともに、安全・安心で住みやすいまちづくりを推進します。

◆ 「チーム保土ヶ谷」

職員同士のコミュニケーションを大切にしなが、職場の垣根を越えた連携を深め、区役所全体のチーム力を高めるとともに、他機関との連携を一層密にして、効果的・効率的な行政サービスを提供します。

災害対策、新型コロナウイルス感染症対応、いわゆる「ごみ屋敷」への対応、空家対策等、緊急・複雑化する地域課題には、「チーム保土ヶ谷」として区の総合力で取り組みます。

◆ 暮らしの安全・安心の確保



災害対策

- 将来の地域防災の担い手育成や自助・共助の取組の促進のため、区内の小学校を対象とした出前授業や「がやっこレスキュー隊 Jr. 防災力検定」を実施します。また、自治会町内会等が主催する防災講座へ講師を派遣し、地域防災力の強化を図ります。
- 大地震や風水害時などにおける情報収集や避難所開設・運営・広報等について、関係機関と協力体制を構築し、災害時の体制強化を進めます。
- 災害時には、迅速かつ確実に避難情報を伝達するとともに、避難所の開設を行います。

生活の安全・安心

- 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症予防・対策について、適切な情報発信、相談対応等を行います。

◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり



子育て

- 第1子の子育ての不安解消と仲間づくりを目的とした「赤ちゃん教室」を開催するほか、親子向けのイベント開催、居場所づくりの充実、子どもの発達・育児に関する資料を多言語で作成するなど、誰もが安心して子育てできるよう取組を進めます。
- 放課後キッズクラブ・児童クラブにおいて、地域の人との関わりや学習支援を通じ、子ども達の自己肯定感や社会性を高め、地域で子ども達を見守る風土の醸成を図ります。

健康づくり

- 区内企業と連携し、従業員を対象にした生活習慣の改善や歯周病予防を目的とする啓発等を行います。
- 働き・子育て世代の健康意識を高めるため、運動イベントの開催等を通じた健康啓発を行います。

◆ つながり・支えあいの推進



つながり
・
担い手
づくり

- 5年後の区制100周年に向けて、区民の皆様とアイデアを出し合いながら、区内の機運醸成を図ります。
- 「第4期保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）」に基づき、「ほっとなまちづくり」に関わる人をさらに増やすとともに、見守りなど孤立を生まないための取組を進めます。
- 「保土ヶ谷区多文化共生まちづくりプラン」に基づき、日本人・外国人問わず誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。
- 高齢者や障害のある方誰もが、自分らしく安心して暮らせるよう、介護・医療・介護予防・生活支援などを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」を推進します。
- 民生委員・児童委員の活動を広く区民の皆様理解していただくよう、QA集やチラシ、ポスター等を活用した普及啓発を行うとともに、さらなる担い手の育成・発掘に向けて、民生委員・児童委員を補佐する協力員を配置した見守り活動を進めます。

◆ 魅力あるまちづくり



魅力の
向上

- 区民が多く集まる区役所に設置した花時計や、花フェスタ2022を通して「ほどがや花憲章」の理念に基づく、花と緑にあふれる清潔で美しい「花の街ほどがや」づくりを進めます。
- 区内の「農」を身近に感じられる朝市の開催や、小学校への野菜苗の配布、地産地消を推進する飲食店・直売所の紹介等を通じて、地域の魅力を発信します。

まちづくり

- 令和4年度から利用可能となる星川駅高架下空間等が新たなランドマークとなるよう、開発事業者との連携を進め、賑わいを生み出すとともに、魅力あふれるまちづくりを推進します。
- 保土ヶ谷駅東口周辺では旧保土ヶ谷県税事務所跡地の整備を契機とし、保土ヶ谷橋交番の移転調整や公衆トイレのバリアフリー化等により、安全安心な駅前広場空間の整備を進めます。

◆ 信頼される区役所づくり



来庁者への
サービスの
充実

- 職員一人ひとりが来庁者の用件を的確に把握し、丁寧にわかりやすい説明や案内を行います。また、安心して来庁いただけるよう窓口等での感染症対策を徹底します。
- マイナンバーをはじめとする個人情報の保護に万全の注意を払うとともに、正確・適正に事務を執行します。

協働の推進

- 地区担当を中心に地域の皆様と連携し、協働して課題解決に取り組みます。
- 地域の課題を把握し、大学や企業、区内関係機関とも連携しながら、課題解決を行います。

その他の事業・取組は、今年度の『「個性ある区づくり推進費」等保土ヶ谷区編成予算』をご覧ください。

(ホームページURL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/kusei/unei-hoshin-yosan/yosan/reiwa4yosan.html>)

各職場の取組目標

総務課

各課が安心して業務に取り組める環境を整え、区民サービス向上につなげます

- 職員が区に愛着を持ち、生き活きとやりがいを持って働くことができる職場づくりを進めます。
- 職員一人ひとりが連携し、全ての職員が協力し合えるよう、「チーム保土ケ谷」の組織力を高めます。

区政推進課

保土ケ谷の未来を考え、様々な取組を進めます

- 若者を含めた幅広い世代の区民の皆様に、保土ケ谷への愛着を深めていただけるよう、様々な広報媒体を活用して区の魅力や取組などを発信します。
- 地域の情報を積極的に収集し、庁内・関係機関への情報共有や関係団体・幅広い民間主体との連携・協働を進めることで、まちの魅力づくりや地域課題の解決につなげます。

地域振興課

区民の皆様の活動をより一層支援して、協働による地域づくりを進めます

- 「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」を目指し、自治会町内会をはじめとする地域の様々な団体や区民の皆様の活動を一層支援し、協働による活力ある地域づくりを進めます。
- 区制100周年に向けて、コロナ禍により停滞した地域活動を再始動させ、賑わい、活力あるまちづくりを進めます。

戸籍課

お客様のニーズに適切に対応するとともに、個人情報の保護を徹底します

- 傾聴の姿勢でお客様のご用件を的確に把握し、お客様の視点にたったわかりやすい説明と案内を行い、迅速かつ正確に業務を実施します。
- マイナンバーなどの個人情報の保護を徹底し、お客様に安心していただけるサービスを提供します。
- お客様が安心して、スムーズに手続きできる窓口環境を整えます。

税務課

区民の皆様に信頼される窓口づくりを進めます

- 傾聴の姿勢をもってご用件を的確に把握し、親切・丁寧にわかりやすい言葉で説明を行います。
- お客様が気持ちよく手続きを進められるよう、常にお客様目線で窓口環境を見直します。
- 適正公平な賦課徴収を推進し、区民の方々の税金に関する理解を広げます。

区会計室

会計事務を円滑に実施し、信頼される区役所づくりを支えます

- 正面玄関前に窓口を持つ部署として、お客様のニーズに寄り添う接客を徹底します。
- 審査事務を通じて各課のセーフティネットとなり、支払遅延や誤りを防止します。
- 市内中小企業の方々への迅速なお支払いに努めます。

福祉保健課

地域の皆様とともに、「ほっとなまちづくり」に全力で取り組みます

- 地域活動情報を SNS やイベントを通じて積極的に発信し、「ほっとなまちづくり」を推進します。
- 健康寿命の延伸に向けて各種団体等と連携し、「働き・子育て世代」の皆様が、運動習慣を通じて健康維持・増進できるきっかけづくりや情報発信を行います。
- 民生委員・児童委員の一斉改選に向けて、地域に伺い、担い手確保の説明を行うとともに、活動内容・やりがいについてリーフレット等を用いた更なる広報啓発活動を進めます。

生活衛生課

安全で快適に暮らせるよう、食中毒感染症予防、動物適正飼育を推進します

- 生活衛生関係の営業者の方へ必要な情報を発信し、食中毒や感染症の発生を防止するとともに、社会福祉施設、地域での催しや高齢者等に食事提供を行う団体への衛生支援を行います。
- 区民の皆様へ食中毒や暮らしの衛生に関する情報を様々な方法を活用してわかりやすく発信します。
- 犬・猫の飼い主にむけて積極的に情報を発信し、適正飼育につなげるとともに、災害時ペット対策や地域防災拠点での衛生対策の啓発・周知をはじめとした、地域支援を行います。

高齢・障害 支援課

高齢者や障害をお持ちの方の地域における安心な暮らしを支援します

- 増大する介護・医療ニーズに対し、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けていけるような地域づくりに向けた地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。
- 障害のある方が地域で自分らしく生活ができる地域共生社会の実現に向けて、障害者地域自立支援協議会を中心とした関係機関による地域の課題解決に向けた取組が進むよう支援します。
- お客様の信頼を得るため、窓口環境を整え、正確・適切かつ効率的な業務執行に努めます。

こども家庭 支援課

未来を担う子どもたちの安心で健やかな育ちを応援します

- 子どもにとっての最善を意識しながら多職種が一体となり、妊娠・出産時から学齢期の子どもとその家庭、妊産婦のニーズや課題に応じた適切な支援を切れ目なく行います。
- 積極的な情報の発信・共有等を行い、地域、関係機関との連携、交流を深めることで、支援及びサービスの充実と地域の中で安心して育ち、子育てができる環境づくりに取り組みます。
- 来庁されるお客様に寄り添った対応を心がけ、窓口サービスの向上と正確な事務処理に努めます。

市立保育園

子どもたちの健やかな育ちを支え、信頼される子育て支援に取り組みます

【向台保育園】

- 令和5年度民間移管に向けて、移管先法人とともに、保護者の方や子どもたちの「安心」につながる引継ぎや共同保育を進めていきます。
- 保育の質を高め、子どもたちがさらに生き生きと過ごせる、魅力ある保育園を目指します。

【神戸保育園】

- 子どもの人権を大切にし、子どもが主体的に活動できる環境づくりや保育を行います。
- 入所している園児や保護者だけでなく、育児支援センター園※として地域の親子の子育てパートナーともなれるよう、信頼関係をつくり、育児支援を行います。

【岩井保育園】

- 職員一人ひとりが「育てあい、学びあい」の姿勢を持ち、コミュニケーションを大切にして、職場全体のチーム力を高めるとともに、持続可能な運営に向け、事務事業の効率化などを行います。
- 地域とのつながりを大切にして、経験の幅を広げ、子どもの主体性を尊重する保育を行います。

【天王町保育園】

- 安心安全な環境を整え、子どもたちが主体的に自分の力を発揮できる保育を行います。
- 育児支援センター園※として地域との連携や交流を深め、身近に感じられる保育園を目指します。
- 保育を語り合い、学びあい、助け合って、風通しの良い職場づくりに取り組みます。

※保育園に通っていない親子への施設開放や、育児に関する相談、情報提供、講座等を行っています。

生活支援課

生活に困っている方を早期に把握し、積極的に支援していきます

- コロナ禍の経済不況により、生活に困っている方が増えているため、地域の関係機関等と連携して情報を収集し、早期に把握していきます。
- 生活に困っている方から相談を受ける際は、丁寧な聴き取りを行い、生活困窮者自立支援制度や自立支援施策などを活用し、課題の解決に向けて支援を実施します。

保険年金課

区民から信頼され親しまれるサービスを提供します

- コロナ禍における感染拡大防止のため、安心してお待ちいただける待合フロアの実環境整備に取り組みます。
- お待たせしない窓口運営を心掛けるとともに、お客様一人ひとりのご用件を丁寧にお聞きし、区役所内での連携に努め、的確な対応で区民から信頼され親しまれるサービスの提供を目指します。

保土ヶ谷 土木事務所

道路・公園など施設の維持管理について、使命感を持って取り組みます

- 区民の皆様からのご要望に親切・丁寧・迅速に対応し、一丸となって道路・下水道・河川・公園等の日常生活に欠かせない施設の適切な維持・管理・修繕及び交通安全対策に全力で取り組みます。
- 災害に備えた準備を進めるとともに、災害時には関係する区民等と連携して安全安心な生活基盤を確保します。
- 地域の皆様との協働を進めながら信頼関係を深めます。

SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえた取組

SDGs は、世界が抱える貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなどの様々な問題を解決し、持続可能な社会をつくるために国連で世界各国が合意した 17 の目標と 169 のターゲットです。区政運営に SDGs を意識するために、目標達成に向けた施策・組織運営に SDGs の 17 の目標との関連性を示しました。

* 主な事業・取組の各項目に、関連する SDGs の目標を示しています。



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



各国内及び各国間の不平等を是正する



飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



持続可能な生産消費形態を確保する



すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う



持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



令和 4 年度

保土ヶ谷区編成予算 事業概要及び執行計画

《目次》

- 1 令和4年度保土ヶ谷区編成予算について・・・・・・・・・・ 1

- 2 個性ある区づくり推進費自主企画事業について・・・・・・・・ 3
 - (1) 自主企画事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - (2) 主要事業執行計画
 - 区制100周年に向けた地域活動ブースター事業・・・・・・・・ 10
 - 星川駅周辺の魅力づくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - 地域見守り推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - 地域が見守る子どもたちの放課後事業・・・・・・・・・・ 13
 - (3) 統合事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

- 3 当区からの提案に基づく企画事業
 - (1) 《参考1》区局連携促進事業・・・・・・・・・・・・ 15
 - (2) 《参考2》元気な地域づくり推進事業・・・・・・・・ 15

1 保土ケ谷区編成予算について

～「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」に向けて～

激甚化する自然災害や新型コロナウイルス感染症等による社会情勢の変化は、区民の皆様の暮らしに大きな影響を及ぼしています。少子高齢化が進む中、「区民の安心・安全」を支えていくとともに、人と人がつながり、5年後に迎える区制100周年を見据えた魅力と活力あふれるまちの実現に向けて、令和4年度予算を編成しました。

事業の推進にあたっては、地域との協働や各課との連携を促進し、区役所をあげて全職員が一丸となり「チーム保土ケ谷」で取り組みます。

(1) 個性ある区づくり推進費区分別総括表

(単位：千円)

区 分	4年度予算	3年度予算	増△減
自主企画事業費	101,059	101,682	△623
統合事務事業費	42,269	43,022	△753
区庁舎・区民利用施設管理費	538,568	538,823	△255
合 計	681,896	683,527	△1,631

(2) 内訳

ア 自主企画事業費 (全39事業)

(単位：千円)

区分	4年度予算	3年度予算	増△減
暮らしの安全・安心の確保	22,758	22,182	576
誰もが健やかに暮らせる環境づくり	22,411	24,157	△1,746
つながり・支えあいの推進	28,503	25,938	2,565
魅力あるまちづくり	19,485	18,157	1,328
信頼される区役所づくり ～「チーム保土ケ谷」の強化～	7,902	11,248	△3,346
合 計	101,059	101,682	△623

イ 統合事務事業費

(単位：千円)

区分		4年度予算	3年度予算	増△減
	統合事務費	24,761	23,692	1,069
	統合事業費	17,508	19,330	△1,822
合 計		42,269	43,022	△753

ウ 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区分		4年度予算	3年度予算	増△減
	区庁舎	100,953	100,616	337
	ほどがや市民活動センター	26,129	26,129	0
	土木事務所	9,511	9,116	395
	公会堂	56,034	56,384	△350
	地区センター等	339,251	337,657	1,594
	広場・遊び場	2,388	2,388	0
	区庁舎・区民利用施設修繕費	4,302	6,533	△2,231
合 計		538,568	538,823	△255

(3) 当区からの提案に基づく企画事業費

(単位：千円)

区分		4年度予算	3年度予算	増△減
	区局連携促進事業 ※1	10,000	2,000	8,000
内 訳	保土ヶ谷駅東口周辺環境改善事業(資源循環局)	10,000	0	10,000
	星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業(道路局)	0	2,000	△2,000
	元気な地域づくり推進事業 ※2	1,315	2,119	△804
内 訳	“輝け、地域力!”事業	1,135	1,120	15
	地域・まちづくり活動支援事業	180	689	△509
	保土ヶ谷ほとなまちづくり地区別計画推進事業	0	310	△310
合 計		11,315	4,119	7,196

※1 個性ある区づくり推進費の財源を活用し、区と局が連携して行う事業。事業所管局に予算計上。

※2 地域の特性に応じて区が事業提案し、市民局予算を用いて実施する事業。

2 個性ある区づくり推進費自主企画事業について

(1) 自主企画事業一覧

※丸数字で記載しました4つの事業については、10ページ以降に執行計画を掲載しています。

◆ 暮らしの安全・安心の確保 【22,758千円】

誰もが安全に安心して暮らせるよう、区本部体制及び関係機関との連携の強化、地域防災力の向上など、災害対策を推進します。また、交通安全対策、地域防犯力の向上、感染症対策、食の安全などに取り組みます。

1 ほどがやカーボンニュートラル推進事業【R4】318千円・【R3】318千円】

横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を2020年までに22%、2030年までに30%、2050年までに80%以上削減（2013年度比）」の目標を達成するため、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援として、区内イベントでのブース出展やSNS等を活用した啓発のほか、「環境」をテーマに小学生とその親を対象としたイベントを実施します。（通年）

2 災害対策推進事業（20万区民の自助・共助による減災運動）

【R4】12,560千円・【R3】11,536千円】

安全・安心に暮らすことができる保土ヶ谷区の実現のため、危機管理・地域防災力の向上を図ります。今年度は、地域防災拠点の既存防災倉庫の狭あい化対策として、追加の防災倉庫設置を進めます。

- (1) 地震・風水害それぞれの避難場所の広報
- (2) 小学4年生を「がやっこレスキュー隊 Jr」として育成
- (3) 備蓄の必要性等の家庭における自助の取組促進
- (4) 協力機関等との協定に基づく体制強化

3 保土ヶ谷区地域防犯力向上事業【R4】5,615千円・【R3】5,697千円】

警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、街頭犯罪を防止し、安心・安全・快適なまちづくりを推進します。

- (1) 防犯センター活用事業（通年）
- (2) こども110番あんしんの家（通年）

4 交通安全対策事業【R4】3,340千円・【R3】3,643千円】

交通安全運動や交通安全教育を実施して交通事故の防止を推進します。また、駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発します。（通年）

5 暮らしの衛生サポート事業【R4】925千円・【R3】988千円】

生活衛生に関する最新情報や正しい知識についてわかりやすく啓発し、区民の安全・安心な食と生活環境づくりを支援します。

- (1) 持ち帰りや宅配を行う飲食店や区民への食中毒予防啓発の実施（通年）
- (2) 食中毒予防啓発物品の作成・配布（6月～）
- (3) 犬・猫の飼い主に向けた適正飼育に関する情報の発信（通年）
- (4) 災害時ペット対策物品（一時飼育場所開設キット）の作成・配布（6月～）

◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり 【22, 411千円】

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、生活習慣病予防、介護予防などに取り組みます。また、スポーツを通じた健康づくりを推進します。

6 スポーツの街ほどがや推進事業【R4】3,034千円・【R3】3,612千円】

スポーツ推進委員や区スポーツ協会と協力して、年齢・性別問わず区民の誰もがスポーツに親しみ、交流できる環境づくりを推進します。子どもから大人まで幅広い年代が参加できる大会の実施をとおして、区民の健康を維持し、スポーツへの関心を高めます。また、保土ヶ谷区をホームタウンとして活動する唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの協働を通じ、スポーツをとおした区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。(通年)

7 がやっこ育成事業【R4】2,260千円・【R3】1,812千円】

地域の資産(横浜国立大学や水田)と連携、活用し、未来を担う青少年が健やかに成長できる地域環境の実現を図ります。また、児童から学生、高齢者まで様々な区民の世代間交流の場をつくるとともに、事業を通じて地域の新たな担い手として活躍していただくきっかけを作ります。(通年)

⑧ 地域が見守る子どもたちの放課後事業

【R4】1,040千円・【R3】3,064千円】

放課後を地域が子どもを見守り・育む場ととらえ、地域の方々と様々な形で関わることで、子どもたちの社会性やコミュニケーション力の成長の一助とします。また、地域の埋もれた人材を発掘し、放課後に地域と子どもたちが関わることで地域とつながりを持ち、育った街に対する愛着を育みます。

- (1)放課後児童健全育成事業者と地域の活動支援(通年)
- (2)ネットワーク会議の実施(7、11月)
- (3)放課後児童健全育成事業者の職員研修(10、12月)

9 ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～

【R4】4,960千円・【R3】5,126千円】

地域で孤立しない育児ができるように、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期からトータルで子育てをサポートする事業を実施します。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めていきます。

- (1)両親教室(通年)
- (2)こどもの発達や育児に関する資料の翻訳(9月)
- (3)乳幼児健診来庁者への情報提供(通年)
- (4)ほめ方・しかり方フォローアップ研修(5月)
- (5)地域子育て支援連絡会(通年、7地域ケアプラザエリア)、事務局研修(7月)、全体会(2月)
- (6)ほどがや子どもニコニコフェスタ開催(11月)
- (7)子育てアンケート実施(10～12月)

10 ほどがや happy 子育て～保育所による妊娠期・未就学児支援事業～

【R4】911千円・【R3】1,078千円】

区内の市立保育所が持つ機能を活用し、妊娠期の方及び未就学児親子を対象とした事業を実施します。園庭開放、絵本の貸し出し、ランチタイム等や、区内公私保育園による親子向け遊びの紹介、保育士の子育てサロン出張での情報発信などにより、地域の子育てをサポートします。

- (1)園庭開放、絵本の貸し出し、ランチタイム(通年)
- (2)合同育児講座(ほがらか広場)開催(7月)、ほがらか育児講座開催(5～12月、6か所)
- (3)保育園応援隊の実施(通年)

11 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業

【R4】1,940千円・【R3】1,698千円】

こども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めます。また、孤立しやすいひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげます。

- (1) 児童虐待防止啓発活動の実施（通年）
- (2) 児童虐待防止キャンペーンの実施（10月、11月）
- (3) 要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催（通年）
- (4) 女性の離婚等のための相談事業の実施（通年）

12 ほどがや歯っぴいHealth事業【R4】1,400千円・【R3】1,400千円】

口腔の健康状態は全身に大きく影響します。歯の生え始めからのむし歯予防、成人期以降の歯周病予防、そして、オーラルフレイル予防まで、生涯にわたって口腔内を健康に保つていくために必要な知識や口腔内のお手入れ方法を、実技指導等を取り入れながら啓発します。

- (1) 親子健康まつりでの歯科体験等のイベントを通じた啓発（6月）
- (2) 歯科医師会と連携したオーラルフレイル予防、歯周病予防の啓発（通年）

13 ほどがや元気づくり事業【R4】4,853千円・【R3】4,853千円】

「働き・子育て世代」（30～50代）中心とした区民へ健康に関する情報提供やきっかけづくりをすることで、自分自身で健康の維持・増進をする機運を高めます。

- (1) 企業と連携した健康づくりイベントの実施（6月以降順次）
- (2) 健康啓発動画の配信などデジタル媒体を活用した健康づくりのPR（12月）

14 輝けシニア！2025事業【R4】1,658千円・【R3】899千円】

高齢者が可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めます。

- (1) 介護予防：きらり☆シニア塾認定・効果検証（通年）、ほどがや体操CD・DVD配布（随時）
- (2) 老人クラブ：ことぶき大学（7月）、高齢者作品展（10～11月）、囲碁・将棋大会（1月）
- (3) 認知症支援：サポーター養成講座（随時）、認知症に関する普及啓発（通年）
- (4) 区アクションプランを活用した地域包括ケアシステムに関する普及啓発（通年）

15 学齢障害児フレンドサポート事業【R4】355千円・【R3】615千円】

障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援します。

- (1) 長期休み期間事業の実施（8月、3月）
- (2) 休日事業の実施（9、12月）

◆ **つながり・支えあいの推進** 【28,503千円】

5年後に迎える区制100周年を見据えながら、新型コロナウイルス感染症により制限されていた地域活動を再始動・活性化します。また、地域での見守り活動の充実、高齢者や障害のある方への支援や多文化共生の推進等に取り組みます。

<p>16 広聴の区民協働事業 【R4 874千円・R3 841千円】</p> <p>地域のつどい」「区民のつどい」の開催等の区民会議活動や、活動内容を広く区民にお知らせする「ニュースやまびこ」の発行などを、区民会議と協働して進めます。</p> <p>(1) 「地域のつどい」書面アンケート実施（5～7月）、「区民のつどい」への参加（11月）</p> <p>(2) 分科会の活動（通年）</p> <p>(3) 「ニュースやまびこ」の発行（1期2年間に3回発行）</p>
<p>17 多文化共生まちづくり事業 【R4 845千円・R3 3,090千円】</p> <p>「多文化共生まちづくりプラン」の策定をうけ、外国人と日本人が相互理解を深め、ともに地域の一員として安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを進めていくとともに、関係機関と連携し保土ケ谷区ならではの交流事業の充実を図ります。（通年）</p>
<p>18 ICT活用支援事業 【R4 1,585千円・R3 1,305千円】</p> <p>ICTを活用した新たな地域の活動や交流が展開できるよう、地域ニーズに応じた研修会やアドバイザーの派遣を行います。</p> <p>また、区内の一部区民利用施設へタブレット端末を配備し、機器をお持ちでない方もウェブ会議に参加できるよう引き続き支援します。（通年）</p>
<p>19 《新規》区制100周年に向けた地域活動ブースター事業 【R4 3,400千円】</p> <p>「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、令和9年度に迎える区制100周年を見据えながら、新たな活動の創出や機運醸成を行います。</p> <p>(1) 合同コンサート開催（7月）</p> <p>(2) 区民まつりの内容の拡充（10月）</p> <p>(3) 地産地消料理コンテスト開催（調整中）</p> <p>(4) ほどがや会議（2月）</p> <p>(5) フォトコンテスト開催（調整中）</p> <p>(6) スポーツイベント（調整中）</p>
<p>20 ほどがや区民まつり 【R4 4,900千円・R3 4,900千円】</p> <p>区民や区内各種団体の交流促進及びコミュニティの再生のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催します。</p> <p>開催日：令和4年10月29日（土）</p> <p>開催場所：県立保土ケ谷公園</p>
<p>21 自治会町内会支援事業 【R4 3,603千円・R3 3,548千円】</p> <p>地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支え、市政・区政推進の基盤となることを目的とします。（通年）</p>
<p>22 市民活動支援事業 【R4 4,211千円・R3 4,211千円】</p> <p>市民活動・生涯学習活動の拠点として、地域で活動する区民や団体間の連携・協働を図ります。区民の活動発表の場を提供するなど、地域に密着したきめ細やかな支援を行ないます。（通年）</p>

23 はぐくみプロジェクト【 R4 2, 959 千円・R3 3, 162 千円】

区民が地域に関心を持つきっかけを作り、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行います。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指し、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図り、区民との交流の機会を設けます。

- (1) はぐくみ塾（5、6月）
- (2) パワーアップ講座（6月）
- (3) 区民企画型講座（7月以降）
- (4) 地域デザインセミナー（7～9月）
- (5) 地域コーディネーター研修（10～12月）
- (6) 企画の実践支援（通年）
- (7) ステップアップ補助金（通年）

24 障害者地域支えあい連携推進事業【 R4 1, 668 千円・R3 1, 301 千円】

障害者支援関係機関が課題解決に向けて話し合う保土ヶ谷区地域自立支援協議会の円滑な運営及び活動を支援します。また、協議会の部会活動として実施している自主製品販売の販路確保を支援するとともに、精神部会においては「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の推進に向け、訪問支援（アウトリーチ）を実施し充実していきます。

- (1) 自立支援協議会の開催（全体会：1回、代表者会議：3回、専門部会：約40回）
- (2) 障害者の社会参加拡充を目指したハンドメイド商品の販売促進支援（通年）
- (3) 多職種連携チームによる精神障害者へのアウトリーチ支援の実施（通年）

25 ほどがや花のおもてなし事業【 R4 1, 100 千円・R3 1, 030 千円】

障害のある方の社会参加の機会を増やすとともに、区庁舎の窓口環境の向上を目的に、障害福祉事業所と連携してフラワーアレンジメントを作製し、区役所内の窓口に展示します。

- (1) 区役所窓口（13か所）へのフラワーアレンジメントの展示（週1回）

26 保土ヶ谷ほとなまちづくり推進事業

【 R4 1, 193 千円・R3 1, 300 千円】

第4期保土ヶ谷ほとなまちづくり（地域福祉保健計画）（計画期間：令和3年度から令和7年度まで）を推進します。また、庁内で連携するとともに、各地域が抱える様々な課題に対し主体的に取り組を進められるよう、地区支援チームが支援します。

- (1) ほとなまちづくり推進会議（6月、2月）
- (2) 第4期地区別計画推進の支援（通年）
- (3) リーダー会議（7月、11月）

27 地域見守り推進事業【 R4 2, 165 千円・R3 1, 250 千円】

ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員だけでなく、地域にお住いのあんしん訪問員（ボランティア）が民生委員・児童委員を通じて、区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守ります。

また、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、物理的・精神的負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行います。

- (1) 民生委員・児童委員協力員の委嘱（毎月1日付で委嘱）
- (2) あんしん訪問事業補助金を各地区推進委員会へ交付（6月）
- (3) あんしん訪問事業全体研修会の開催（3月）
- (4) あんしん訪問事業地区推進委員会連絡会の開催（3月）

◆ 魅力あるまちづくり 【19, 485千円】

自然や歴史などの地域資源を生かした取組や鉄道駅周辺のまちづくり、商店街振興、地産地消の取組等、活力あるまちづくりを推進し、区の魅力を発信することで、地域への愛着をはぐくみます。

28 広報推進事業【R4】 2, 163 千円・【R3】 3, 132 千円】

様々な広報手段を総合的に運用することにより、重層的・多角的な広報活動を展開します。

- (1) 転入者セットの作成 (通年)
- (2) デジタル媒体 (ツイッター・インスタグラム・サイネージ等) による区政情報・区の魅力発信 (通年)
- (3) 保土ヶ谷区に関する各種統計情報を便覧の形式で発行 (12～1月)

29 歴史浪漫ほ도가や事業【R4】 4, 459 千円・【R3】 2, 397 千円】

旧東海道の宿場町に代表される保土ヶ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民や他の関係区局と協働で進めます。

- (1) 小学生とその親を対象としたイベント (7月～9月)、まちあるきイベント (10月)
- (2) 歩きやすい街道づくり (松並木の樹木管理及び案内サイン等の維持管理) (通年)

30 星川駅周辺の魅力づくり事業【R4】 3, 280 千円・【R3】 3, 150 千円】

令和4年度から利用可能となる星川駅高架下空間やその周辺において、駅周辺の歴史を取り入れた検討を行います。地区の歴史を生かし、魅力向上を図るため、星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドラインにおける利便性が高く魅力あふれるまちの推進のための取組を実施します。また、多文化共生や地域交流を進め、区心部にふさわしい機能強化を図ります。

- (1) 相鉄グループとの協働契約締結 (6月)
- (2) 協働契約に基づくイベント等の実施 (秋頃～)
- (3) 地域資源や新しくオープンする店舗等星川高架下空間の魅力発信 (通年)

31 保土ヶ谷商工業支援事業【R4】 613 千円・【R3】 583 千円】

地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店が一堂に会して商店街をPRする場を提供、また様々な広報媒体を活用しながら、商店街の活性化を支援します。さらに、商店街だけでなく製造業を含む企業の支援も行っています。(通年)

32 地産地消推進事業【R4】 359 千円・【R3】 379 千円】

農家・地域活動団体・区役所が協力し、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めます。

- (1) ほ도가や朝市の開催 (年間18回)
- (2) 地産地消のPR (花フェスタ、区民まつりへの出展)

33 国際文化理解事業【R4】 783 千円・【R3】 883 千円】

国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、ブルガリアをはじめとする多文化共生の実現を目指します。

- (1) ブルガリアはじめ多文化区民向けイベント (通年)
- (2) 国際文化理解特別授業 (調整中)

34 花薫るきれいな街ほ도가や事業【R4】 4, 336 千円・【R3】 4, 246 千円】

次世代につなげる魅力あるほ도가やのまちづくりをめざし、「ヨコハマ3R夢 (スリム) プラン」事業の推進と街の美化事業に取り組みます。(通年)

<p>35 読書活動推進事業【R4 860千円・R3 660千円】</p> <p>区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発や読書に親しむ講座などを実施することで、保土ケ谷区民の読書活動を推進します。(通年)</p>
<p>36 保土ケ谷区芸術の街【R4 2,632千円・R3 2,727千円】</p> <p>保土ケ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及の各事業を実施します。(通年)</p>
<p>◆ 信頼される区役所づくり 【7,902千円】</p> <p>区民の皆さまに寄り添ったきめ細かな窓口サービスの充実を図ります。また、安心して快適に施設を利用することができるよう、感染症対策の徹底や庁舎等の環境改善を進めます。</p>
<p>37 区総合調整事業【R4 1,000千円・R3 2,000千円】</p> <p>保土ケ谷区の基本目標である「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、予算編成時に想定していなかった緊急的・突発的な課題に対して、柔軟に対応します。(通年)</p>
<p>38 「利用しやすい区役所」推進事業【R4 6,200千円・R3 8,545千円】</p> <p>区民の皆様が安心して快適に利用できるよう区庁舎・区民利用施設の環境を整備・改善し、区民サービスを向上します。(通年)</p>
<p>39 窓口サービス向上事業【R4 702千円・R3 703千円】</p> <p>職員一人ひとりが区民の皆さまに寄り添い、丁寧で迅速なサービスの提供を行うことができるよう、応対マナーや人権感覚の向上を図ります。また、庁内連携を進め、環境整備や業務改善に取り組みます。</p> <p>(1) 改革推進委員会（チーム保土ケ谷づくりプロジェクト）(通年)</p> <p>(2) 職員接遇研修の実施：「窓口対応研修」（6月～7月）、「CS向上研修（仮）」（10月～12月）</p> <p>(3) 人権啓発研修の実施（6月～12月）</p>

(2) 主要事業執行計画

施策分野・事業名	4年度予算
◆つながり・支えあいの推進	3,400
《新規》区制100周年に向けた地域活動ブースター事業（地域振興課・区政推進課）	千円

1 事業概要(目的)

新型コロナウイルス感染症により制限されていた地域活動の再始動を支援するため、区制95周年を迎える令和4年度から「区制100周年」という機会を共通のテーマとして機運醸成を行うとともに、区内の団体の様々な活動が活性化するよう後押しします。

まず、区民まつりの拡充など機運醸成のための区関連イベントを開催し、区内の機運を盛り上げます。

また、区内の団体等で活動している多様な方々にアイデアをいただきながら、100年目の保土ヶ谷区に向けた新たな活動を創出し、それらを担う人材の掘り起こしを含め、区民が主体的に取り組めるよう支援します。

2 これまでの執行状況

100周年に向けた機運醸成として、区関連イベントについて企画・検討を行いました。

Ex. 区の歌合唱団と保土ヶ谷コミュニティオーケストラの合同コンサート、地産地消料理コンテスト、フォトコンテスト、その他スポーツイベントなど

3 今後の予定

(1) 区内で活動する団体等に対して、100周年に向けたアイデアを募集します。集まったアイデアをつなげ、広げるようコーディネートし、活動の再開や拡充を支援していきます。

また、「ほどガヤ会議」を開催し、新たな担い手を発掘します。

(2) 区の歌合唱団と保土ヶ谷コミュニティオーケストラの合同コンサートの開催(令和4年7月)、その他、機運醸成としての区関連イベントの実施(令和4年10月～)



区制80周年の合同コンサート「区民大合唱」
(平成19年10月)



区制90周年記念神輿渡行
(平成29年10月)

施策分野・事業名	4年度予算
◆ 魅力あるまちづくり	3,280
星川駅周辺の魅力づくり事業（区政推進課）	千円

1 事業概要(目的)

星川駅高架下空間やその周辺において、地区の歴史を生かした魅力向上を図るため、星川駅周辺地区総合的なまちづくりガイドラインを踏まえ、「利便性が高く魅力あふれるまちづくり」を進める取組を実施します。

2 これまでの執行状況

相鉄グループとの「星川駅周辺等の魅力づくり基本協定書」(協定期間:令和2年12月23日～令和5年3月31日)に基づき、協働契約を締結し、地区の魅力発掘やイベント等を実施しました。

【令和3年度の取り組み】

- (1) 星川駅周辺等の魅力や未来を話し合うオンラインワークショップ開催(12月)
- (2) オンラインワークショップで出されたアイデアを踏まえマルシェ・コワーキングを軸としたイベントの開催(星天周辺の魅力づくり)(3月)
- (3) 帷子小学校の高架下見学会開催(12月)
- (4) 星川・天王町駅自由通路に近隣小学校への絵画展示(通年)



マルシェ・コワーキングイベントの様子



帷子小学校の高架下見学会

3 今後の予定

引き続き相鉄グループと連携し、まちの機運を盛り上げる取組を実施します。

- (1) 相鉄グループと令和4年度の協働契約締結(6月)
- (2) 協働契約に基づくイベント等の実施(秋頃)
- (3) 帷子川などの地域資源や高架下の魅力発信(通年)

【参考】 関連スケジュール

令和2年	12月22日	星川駅周辺地区総合的なまちづくりガイドライン策定
	12月23日	星川駅周辺等の魅力づくり基本協定書の締結
令和3年	5月29日	天王町駅 YBP 口改札 供用開始
令和4年	3月31日	星川駅南口交通広場および周辺都市計画道路の供用開始
令和4年	冬頃予定	星川駅・天王町駅間高架下空間の一部開業

施策分野・事業名	4年度予算
◆ つながり・支えあいの推進	2,165
地域見守り推進事業（福祉保健課）	千円

1 事業概要(目的)

見守りが必要なひとり暮らし高齢者(75歳以上:区内約1万人)が増加している中で、コロナ禍においても地域でつながりを持ち、孤立することなく安心して暮らすことができるよう、見守りに取り組む必要があります。

一方、見守りの核となる民生委員・児童委員(以下、民生委員)は担い手不足により欠員が生じるとともに、働き世代の民生委員からは仕事との両立で負担を感じるとの声もあるため、民生委員を補佐する協力員を配置して物理的・精神的負担軽減を図りながら見守り活動に取り組みます。

また、令和4年12月に3年に一度の民生委員の一斉改選が予定される中、新たな担い手の確保が課題となっており、区を挙げて人材の掘り起こしに取り組みます。

2 これまでの執行状況

(1) 民生委員を補佐する協力員の配置(6月)

令和4年5月1日付で新たに2人の協力員を委嘱(6月1日現在の協力員数は11地区26人)。

(2) 一斉改選、欠員補充に向けた民生委員活動の広報啓発(5月～)

民生委員の活動、やりがいについて広く理解していただけるようリーフレットや啓発グッズを作成し、自治会町内会長や民生委員候補者の他、ほどがや花フェスタご来場者等へ配布しました。

(3) 各地区への訪問(4月～)、一斉改選に向けた説明会の実施(5月～6月)

民生委員の充足率向上に向けて、各地区民児協定例会等に区役所職員が参加し、自治会町内会の皆様のほか、地域ケアプラザや区社会福祉協議会の職員も交えて、各地域で新たな担い手となり得る人材について情報共有を行っています。

また、自治会・町内会長を対象に手続きに係る説明会を計4回実施しました。

3 今後の予定

(1) 一斉改選に向けた人材発掘と広報(6月～)

引き続き、各地区への訪問を進め、人材発掘に取り組むとともに、民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンジー」を用いたポスターを作成し、自治会・町内会掲示板のほか、商店街、区民利用施設等へ掲出し、一斉改選について広く周知します。

(2) 協力員制度の見直し(12月)

民生委員の負担軽減効果だけでなく、協力員を経験した後に民生委員となるケースも複数あり、将来的な担い手の掘り起こし効果も期待できることから、更なる協力員の活用促進に向け、委嘱時の提出書類の削減等、手続きの簡略化による負担軽減を図ります。



ほどがや花フェスタ 2022
での広報啓発活動

施策分野・事業名	4年度予算
◆ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり	
地域が見守る子どもたちの放課後事業 (こども家庭支援課)	1,040 千円

1 事業概要(目的)

共働き世帯や一人親世帯の増加に伴い、学校以外で子どもたちが大人と関わる機会の減少、地域とのつながりの希薄化が懸念されています。

そこで、従来からの放課後キッズクラブの児童を対象とした学習支援の枠組みを発展させ、放課後児童クラブも対象に加え、より地域の方が関わる取組や、様々な体験活動を行うことで、子どもたちの自己肯定感や社会性を育みます。また、お互いの顔の見える関係を築き、地域での見守りを強化、拡充することで保護者の安心感の醸成につなげます。

さらに、放課後の子どもたちを見守る団体等によるネットワーク会議を開催し、情報共有と課題解決に向けた意見交換を行い、新たな担い手が生まれる土壌づくりの一助とします。

あわせて、放課後児童健全育成事業者(放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ)の職員を対象とした資質向上に向けた研修を実施します。

2 これまでの執行状況

(1) 放課後児童健全育成事業者と地域の活動支援

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブに事業内容を周知するとともに、引き続き学習支援に取り組むキッズクラブ・アドバイザーに対し、より地域の方々と連携した取組ができるよう、事業内容について説明をしました。(4月)

(2) ネットワーク会議の実施準備

ネットワーク会議の実施に先立ち、会議の方向性やロードマップを策定するため、中心的なメンバーによるプレミーティングを実施するなど、調整準備を進めています。(6月)

3 今後の予定

(1) 放課後児童健全育成事業者と地域の活動支援

学習支援等、補助事業に関しては申込に基づき、補助を実施します。

また、新たな運営主体と取組ができるよう、調整を行っていきます。

(2) ネットワーク会議の実施

7月・11月 ネットワーク会議を実施予定。

(3) 放課後児童健全育成事業者の職員研修

研修のテーマを選定し、10月・12月に研修を実施予定。



学習支援の様子
(星川小学校放課後キッズクラブ)

(3)統合事業一覧 (R4 17,508千円・8事業 R3 19,330千円))

<p>1 広報よこはま発行业【R4 7,607千円・R3 8,744千円】 「広報よこはま ほどがや区版」を毎月発行することにより、市民が必要とする区政・事業等の行政情報を、分かりやすく正確に広報します。(通年)</p>
<p>2 広聴の相談事業【R4 696千円・R3 696千円】 区民の多様な相談事項に応じて、法律相談等の機会を提供します。(通年)</p>
<p>3 消費生活対策事業【R4 101千円・R3 101千円】 地域社会の安全で快適な消費生活を実現するため、悪質商法対策や消費生活向上に向け普及啓発を図ります。(通年)</p>
<p>4 緊急時情報システム事業【R4 507千円・R3 544千円】 双方向機能を有する緊急時情報システムにより、防災に関する緊急情報を区から直接、即時避難指示対象区域に居住する区民に対し電話にて通知し、迅速な避難行動を促します。</p>
<p>5 スポーツ推進委員事業【R4 2,270千円・R3 3,540千円】 誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進し、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図ります。(通年)</p>
<p>6 青少年指導員事業【R4 5,175千円・R3 3,910千円】 青少年を対象とした事業を実施し地域交流を促進するほか、夜間パトロール等により青少年を取り巻く環境を保全し、青少年の健全育成に寄与することを目指します。また、青少年指導員の資質向上のための研修や、活動の広報誌を作成し、担い手の発掘・育成を行います。(通年)</p>
<p>7 学校・家庭・地域連携事業【R4 960千円・R3 960千円】 青少年の非行防止や健全育成を推進するため、学校・家庭・地域が連携し地域の特性を生かしながら自主的に実施する事業を支援します。(通年)</p>
<p>8 健康づくり月間事業【R4 192千円・R3 180千円】 保健・衛生に関する正しい知識の普及、健康寿命の延伸に向けた健康意識の啓発、市民と行政が連携した健康づくり運動の推進、及び地域に根ざした自発的な健康づくりを促進し、市民の生涯にわたる健康づくりに寄与することを目的に、9月から11月までを健康づくり月間と位置づけ、事業を実施します。(通年)</p>

3 当区からの提案に基づく企画事業

(1) 《参考1》区局連携促進事業

関連局と連携して様々な事業を戦略的に行うための所要額を事業所管局予算として計上しています。

(単位：千円)

細目事業名	予算額	概要
保土ヶ谷駅東口周辺環境改善事業	10,000	保土ヶ谷駅東口周辺の賑い創出や安全安心な駅前空間を確保するため、一体的な駅前広場周辺整備を実施します。 (事業所管局：資源循環局)
合 計	10,000	

(2) 《参考2》元気な地域づくり推進事業

市民局からの予算配付を得て、自治会町内会をはじめとする地域の様々な主体が連携して行う課題解決の取組を支援します。

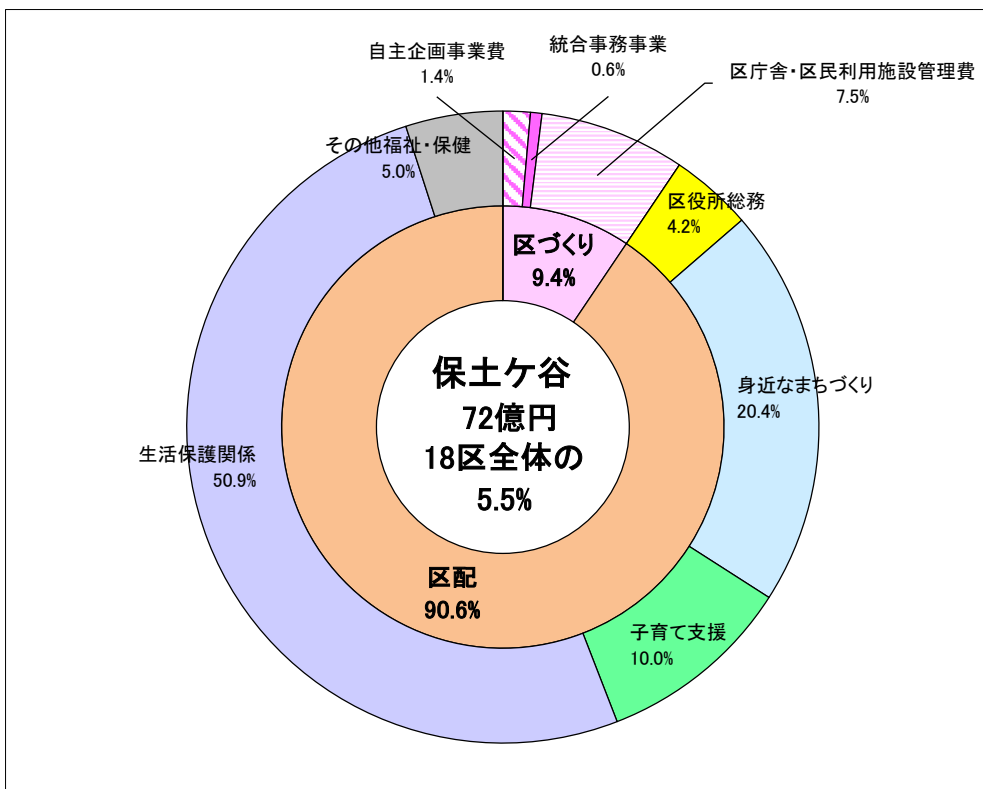
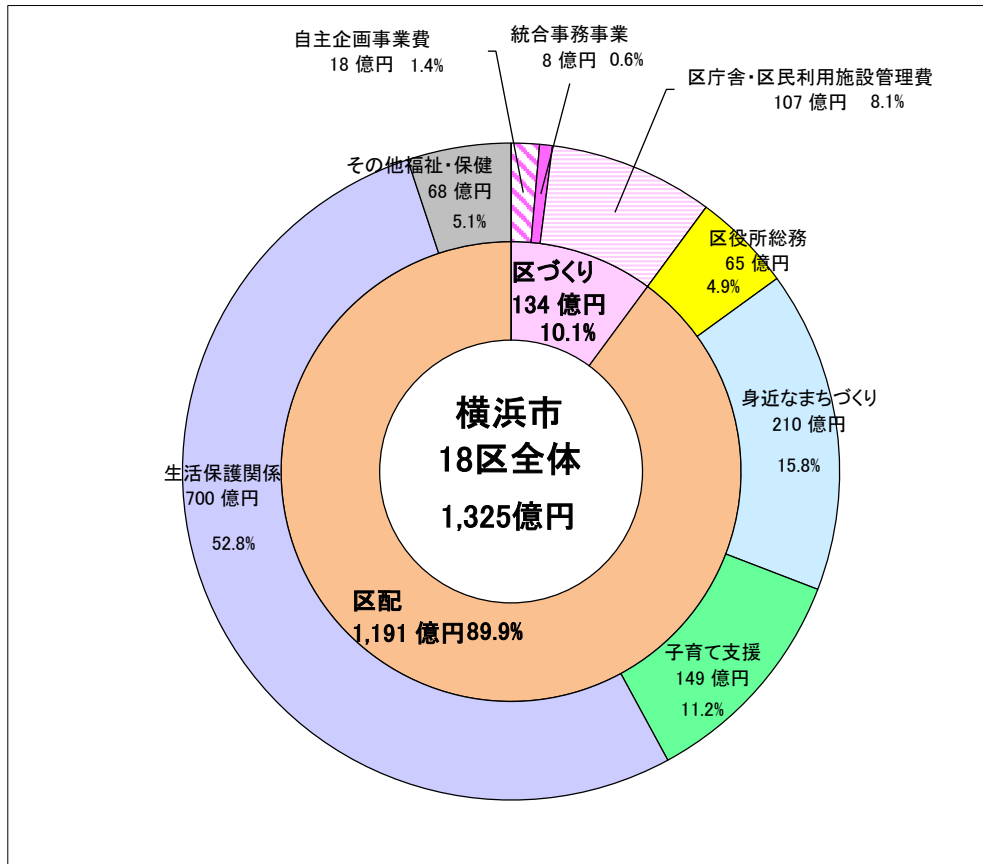
(単位：千円)

細目事業名	予算額	概要
“輝け、地域力！”事業	1,135	地域の課題解決や魅力づくりに取り組む活動の支援や、地域活動の担い手の発掘・育成を図ります。 (1) 地域づくり大学校修了生のつどいの開催（4月） (2) 保土ヶ谷区地域運営補助金の交付（5月）
地域・まちづくり活動支援事業	180	地域・まちづくりにつながる社会的公共性を持つ区民活動を支援し、「区民との協働による個性豊かな地域づくり」の促進を図ります。（通年）
合 計	1,315	

《参考》

保土ヶ谷 区に係る予算のすがた（令和4年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は1兆9,749億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を除く）は1,325億円です。



注：各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	682	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	101	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	42	広報よこはま各区分の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	539	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区配付予算	6,546	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	304	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	110	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	18	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	0.3	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	176	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,476	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,584 百万円
道路修繕費等	843	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	23	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(107)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	611	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	726	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	80	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	515	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金等
地域子育て支援拠点等	131	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	3,680	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	3,623	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	57	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	359	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	149	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	25	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	184	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	7,228	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 7,335 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)